

FUMISO CSR Report2021



行動指針「GLOSS」

ロスを生まないサステナブルな消費サイクルをめざす。CREDOの約束を背景に生まれた文創の行動指針「GLOSS」。

最初は小さな思いつきだった行動が、多くの共感を呼び、いま大きな波に生まれ変わろうとしています。

私たちのCREDO

私たちの仕事(GENBA)には、
施工時に発生する材料のロス(LOSS)がつきものです。

ロスをただ廃棄するのではなく、
「新しい価値を付け、持続可能な消費を確保する」こと
「皆様の彩り豊かな空間・暮らし作りのお手伝いする」ことを
お約束します。

また、ロスを削減することで
私たちの「GENBA」職場環境・現場環境の改善に投資をし、
サステナブルなインテリア業界を目指します。
社員と協力業者様にとって、働きがいのある環境を提供し
業界の発展に繋げていくことが「GLOSS」の使命です。

GLOSSを通して、私たち文創の主たるサービス
「インテリア内装仕上材の材工施工とそれに伴う安全管理体制」を
お客様すべてに提供し続けることをお約束します。

※ CREDO（クレド）とは、「企業全体の従業員が心がけるべき信条や行動方針」のことです。



文創が考えるCSR

ひとりひとりの小さな意識の輪

ゼロ・ウェイスト、ゼロ・エミッション。

ムダをなくし、ひいては二酸化炭素削減へつなげるには、
ひとりひとりの小さな意識の輪が波紋のように広がっていく必要があります。

私たちは早くからゼロ・ウェイストの考え方を企業理念の中心に据え、
誰の真似でもない私たち独自のやり方で少しずつ確実に社会へ貢献するための活動を続けています。

取り組み例

- 残材を使用した福祉施設の改修工事ボランティア
- 分別活動
- 社内ペーパーレス化
- 近隣学校へペットボトルキャップの持込
- GLOSSの部屋
- カーテンの残布の再利用
- ECサイトで残材の販売 etc...



地域貢献

クレドから始まった小さな意識の輪が波紋のように広がり、
各方面の小さな子供たちの笑顔へたどり着くことができました

福祉施設改修工事ボランティア

実施物件数：8件

※2022年1月現在

技能者育成プロジェクト「JAKS・W」の技能研修とGLOSSを組み合わせた新しい取り組み「F1（エフワン）」。2021年より社会福祉法人中部善意銀行様の協力のもと、施設の改修を希望する施設にて、無償で壁紙や床材を貼り替えを行います。普段の現場では経験することができない、新しい環境で技術の習得ができる弊社と、残材を使用することで費用をかけず改修ができる施設側、お互いがwin-winな関係で行えることがこの企画の魅力です。

中部善意銀行HP：<https://www.chubu-zengin.jp/>



カーテン残布再利用

カーテン事業部「ANYROOM」による取り組み。縫製時に発生する残布を使用し、オリジナル巾着を作製。児童養護施設へ配布しております。

製作枚数：200枚

※2022年1月現在





Quality of FUMISO



人が先か、技が先か。

クオリティとはなにか？ 作業をどう捉えるか？ こなしていくものか、ただ仕上げるものか？

あたりまえのように求められる「品質」は、なにによってもたらされるのか？

それは「技能者」によるひとつの答だと、私たちは思っています。

単なる「技術」ではなく、もとめられる「技」を身につけた技能者たちを育てるため、
ほんの少しの意識の違いを体感するための「F1」です。

ここが 私たちの場所です。

いつも、「インテリア・内装工事」この場所は「誰かのために」常に広がっている気がします。

そんな素敵な場所からロスを生まない、サステナブルな消費サイクルをめざす。

最初は小さな思いつきだった「GLOSSプロジェクト」から、多くの共感を呼び、もっと大きな波に生まれ変わらせた。

広がる先の誰かの為にどんな社会貢献が？ 何ができるのか？ 誰よりもそれを楽しみにしているのは私たち自身です。